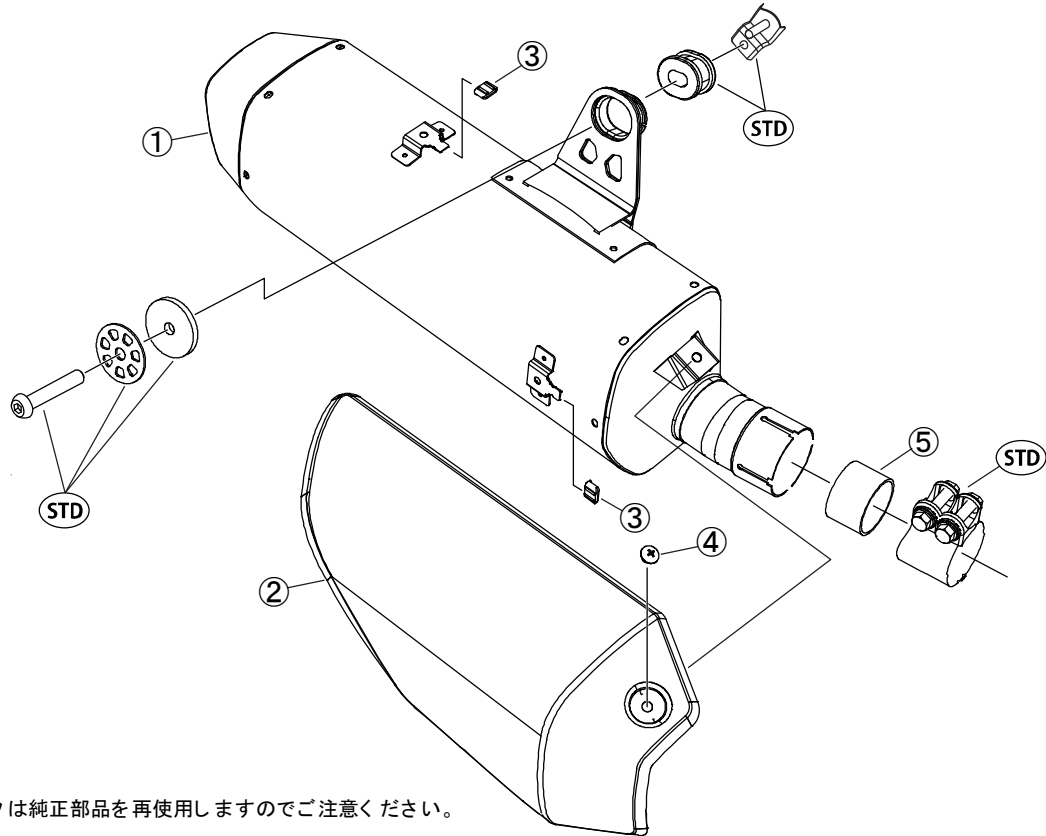


# MORIWAKI MX Slip-On

## Honda '16-17 CRF1000L Africa Twin

Parts No. ANO:01810-6J1P5-00 / BP:01810-6N1P5-00



ⓈTD マークは純正部品を再使用しますのでご注意ください。

【構成部品】

	部品番号	商品名	数	単価(税込)		部品番号	商品名	数	単価(税込)
1	18910-6J1P5-00	マフラーCOMP (WT)	1	¥104,500	4	976000-06010	トラスネジ M6x10	1	¥110
	18910-6N1P5-00	マフラーCOMP (BP)	1	¥104,500	5	18320-LK166-20	ガスケット	1	¥1,320
2	18941-6K1P5-00	ヒートカバー	1	¥9,460			取扱説明書	1	
3	18293-MN0-000	ラバープロテクター	2	¥142			純正触媒使用確認書	1	

【製品仕様】

製品名	MX Slip-on WT/BP	排気音量	MT=近接：90dB/加速：81dB DCT=近接：88dB/加速：80dB
適合機種	Honda 16-17 CRF1000L Africa Twin	商品重量	4.0kg (STD:4.9kg)
型式	2BL-SD04/EBL-SD04	オイル交換	本製品脱着不要
インジェクション	純正状態	JMCA認定番号	JMCA1117007071
エンジン仕様	純正状態	その他	DCT車両にも適合

【準備用品】

- ・ 工具 12mm ソケットレンチ      6mm ヘキサゴンレンチ      +ドライバー
- ・ その他 軍手、ウエス、脱脂洗浄剤



## 注意

- 作業する際は怪我など防止の為、軍手を着用し、エンジンを十分冷ましてから行って下さい。
- 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。
- 走行中振動によりボルト類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めを行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- 取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
- 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのであらかじめご了承下さい。
- 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。

## 1. 純正部品の取り外し

純正サイレンサーを取り外します。(サービスマニュアル参照)

※部品構成表の「STD」とマークのあるパーツは再利用します。

## 2. 製品取り付け

- ① マフラーのテールパイプにガスケットを入れます。

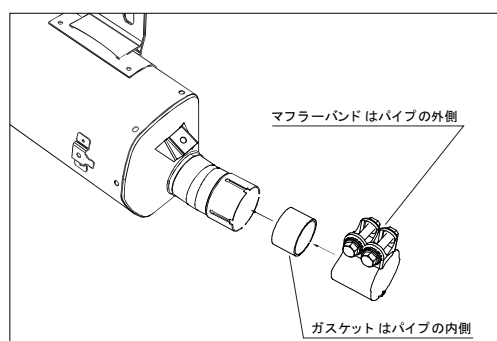


図. 1

- ② マフラー差し込み部にガスケット及びマフラーバンドを取り付けて下さい。(図1)※締めすぎに注意。

- ③ サイレンサーにある2か所のヒートガードマウントステーへ付属品のラバープロテクターを差し込みます。(図2)

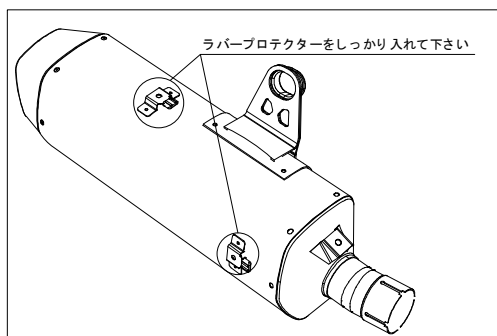


図. 2

- ④ ③で差し込んだ部分へヒートガードを取り付けます。ヒートガード側にあるマウントへ差し込み。ヒートガードを付属のトラスネジで仮付けして下さい。

※この時にヒートガードステーがマウントへ確実に挿入されているか確認して下さい。挿入に不備があると落下する恐れがあります。

- ⑤ マフラーを差し込みサイレンサーステーの純正ボルト類(カラー・ワッシャー・ラバー)を再利用して仮止めます。ラバーやステーの位置に注意して下さい。(図3)

- ⑥ 各部のクリアランス、歪みを調節しながら本締めを行います。順番とトルクは下記を参照して下さい。

## 1. マフラーバンド

フランジボルト M8 締め付けトルク (17[N・m]/1.7[kgf・m])

## 2. サイレンサーステー

純正ボルト M8 締め付けトルク (27[N・m]/2.7[kgf・m])

## 3. ヒートガード トラスネジ M6(ネジロック材の使用を推奨します)



図. 3

- ⑦ 最後にボルトの緩み、ヒートガードの取り付けを再確認してエンジンを始動し排気漏れがないかをチェックして終了です。

※万が一、排気漏れがあった場合は各部のクリアランスを調整してもう一度本締めを行って下さい。

## 【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態です。したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。もしマフラー交換に伴う性能悪化が見られるなら、まずエアクリナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

## 【JMCA について】

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、(財)日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

本製品は純正マフラー部に排気触媒が装着されており、これを使用しているため本製品の排出ガス試験結果証明書は必要ありませんが、車検時に排気触媒位置の有無について確認を受ける場合がありますので、同封の「純正触媒使用確認書」を持参して下さい。

## 【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は品質改善のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング

513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

TEL:059-370-0090 FAX:059-370-0152

HP:<http://www.moriwaki.co.jp/>